

135 行

至急

起案紙第一號

明治四十五年七月二十日起案

提案

艦政本部長

大臣

次官

參事官

副官

軍務局長

經理局長

局員

電令案

明治四十五年七月十九日

皇令第九號ノ三三七ノ二上申軍艦艇平戸

發送番號

發行後起  
原簿捺印

會計課

第三部

第四部

第一部

第二部

1215

二  
17-17

45  
七月十日

四  
7-87

海軍

二試射ニ要スル費用配付ノ体認許ス但  
運搬製造費造船費支辨トス  
(終)

1216

至急

閣下

艦政本部



第九〇三三七

参謀長

海軍省

機長

参謀長

海軍省

海軍省

明治三十五年七月十一日

海軍大臣男爵齋藤實殿

品

第一部 軍艦平戸公試發射ノ件

本會課 金六千拾四九拾四錢ヲ要シ候ニ付テハ豫

算特ニ配分方御認許相成度

追テ本件ハ差懸リ居候奈電信ニテ御指示ヲ得度

右ノ上申ス

(別紙一葉添付)

三三六五

海軍

明治三十五年七月十一日

1217

7.16

品名	数量	単價	金額
第一種炭炭	八〇噸	二二七四	一八九七一〇
第二種煉炭	三二噸	一三二五〇	三八一八〇
以上英煉炭運搬賃	四〇噸	五二七	二〇六八〇
内部油	一八五	三三〇	五九四〇
外部鑛油	七二五	一四〇	一〇一五〇
系	一〇所	三〇〇	三〇〇〇
計			六〇一〇九四〇

海軍

土佐紙様式台紙用

1218

軍令部

教育本部

軍務局

艦政本部

九月十一日

供糧式

大正元年八月二十日

鎮守府司令官 官 長 渡邊 仁太郎

第四部 課長 渡邊 仁太郎

第一 艦隊 成績表

右提出

終

海軍

第三 班

第一 班

第二 班

第三 班

第四 班

第五 班

第六 班

第七 班

第八 班

第九 班

第十 班

第十一 班

第十二 班

第十三 班

第十四 班

第十五 班

第十六 班

第十七 班

第十八 班

第十九 班

第二十 班

第二十一 班

第二十二 班

第二十三 班

第二十四 班

第二十五 班

第二十六 班

第二十七 班

第二十八 班

第二十九 班

第三十 班

第三十一 班

第三十二 班

第三十三 班

第三十四 班

第三十五 班

第三十六 班

第三十七 班

第三十八 班

第三十九 班

第四十 班

第四十一 班

第四十二 班

第四十三 班

第四十四 班

第四十五 班

第四十六 班

第四十七 班

第四十八 班

第四十九 班

第五十 班

第五十一 班

第五十二 班

第五十三 班

第五十四 班

第五十五 班

第五十六 班

第五十七 班

第五十八 班

第五十九 班

第六十 班

第六十一 班

第六十二 班

第六十三 班

第六十四 班

第六十五 班

第六十六 班

第六十七 班

第六十八 班

第六十九 班

第七十 班

第七十一 班

第七十二 班

第七十三 班

第七十四 班

第七十五 班

第七十六 班

第七十七 班

第七十八 班

第七十九 班

第八十 班

第八十一 班

第八十二 班

第八十三 班

第八十四 班

第八十五 班

第八十六 班

第八十七 班

第八十八 班

第八十九 班

第九十 班

第九十一 班

第九十二 班

第九十三 班

第九十四 班

第九十五 班

第九十六 班

第九十七 班

第九十八 班

第九十九 班

第一百 班

參謀長

副官

元九月廿四日

雷

水

八

九

官

福

記

元九月廿四日

軍務局 接收

1219

艦型試験所  
 海軍大臣男爵東郷平八郎海軍大臣殿  
 大正九年九月  
 九月六日進達  
 九月五日經由  
 幕僚  
 機関長  
 参謀長  
 司令長官  
 海軍大臣男爵東郷平八郎海軍大臣殿  
 第四部 部員  
 志通  
 右提出  
 第一班  
 第三班  
 潜水  
 軍令部  
 軍令部  
 小野寺  
 海軍大臣男爵東郷平八郎海軍大臣殿  
 大正九年九月  
 九月六日進達  
 九月五日經由  
 幕僚  
 機関長  
 参謀長  
 司令長官  
 海軍大臣男爵東郷平八郎海軍大臣殿  
 第四部 部員  
 志通  
 右提出  
 第一班  
 第三班  
 潜水  
 軍令部  
 軍令部  
 小野寺

海  
 10  
 九月九日  
 軍令部  
 海軍大臣男爵東郷平八郎海軍大臣殿

駆逐艦機中夾機板實驗ニ関スル報告

一本道筋ニ於テ確立セシト欲スル項目在ノ如シ

一、中央機ノミヲ使用シ一機全カヲ得ルニハ最大及必要

回転數如何(但シ兩機ハ脱離ス)

一、右ニ對スル速力(馬力)如何

一、右ニ對スル燃料費如何

一、右ニ對スル艦ノ震動及操縦ノ状態如何

元年八月至百群中沖ニ於テ本實驗ヲ(正味一時間)施行ス

成果左ノ如シ

海軍省

回転数 二百五十回転

右側の馬力二二六九

右側の速度一五八九rpm (但し四七〇rpmより隔たりなしは海程二倍)  
設置し北南の両向きに動かす

燃料費 第三種煉炭一噸三八 重油〇四噸

右側のうち最も回転が速いもの約三百回転を得馬力の概算を  
ラ得た速いものを極端に速くし、惰力も有るものと止まり測定  
ルラ得たりキ

他機械の状態

中央機械二百五十回転の時、両舷機は首尾乃至首尾空転せり

艦橋回転計の表示所は依り

艦橋の状態



中央機二百五十面転(一五八九彈)ノ時艦ノ震動ハ三機使用同速  
 力(二〇回轉)ノ時より速力大ニシテ羅針儀及ヒ照準器感ズル  
 程度ハ三機使用ニテ六度(三〇回轉)ノ時ト等シキモノ如シ  
 元來本艦ノ三機使用ノ際公算等ノ外力ヲ受ケザル限リ平  
 均面転ニ度位ヲ操ルル要ス(右舷推進器中央推進器右廻リ  
 左舷推進器左廻リ)然ルニ中央機ノ三機使用スル時ハ約五度  
 面転ニ轉舵スルニ非サハ艦ヲ直進セシムル事能ハサルヲ知リ  
 旋回圖ノ測定  
 本實驗中面転及ヒ取舵ニテ十五度ノ旋回圖ヲ測定セルニ  
 左ノ結果ヲ得タリ(三機使用十五節ノ旋回圖ト對照セハ  
 取舵ニ於テ稍大ニシテ面転ニテより速力大ニ見ユル

四  
 二五

別紙旋回圖圖 壹葉添付ス

別紙東組機関大尉山本寛東報告添付ス

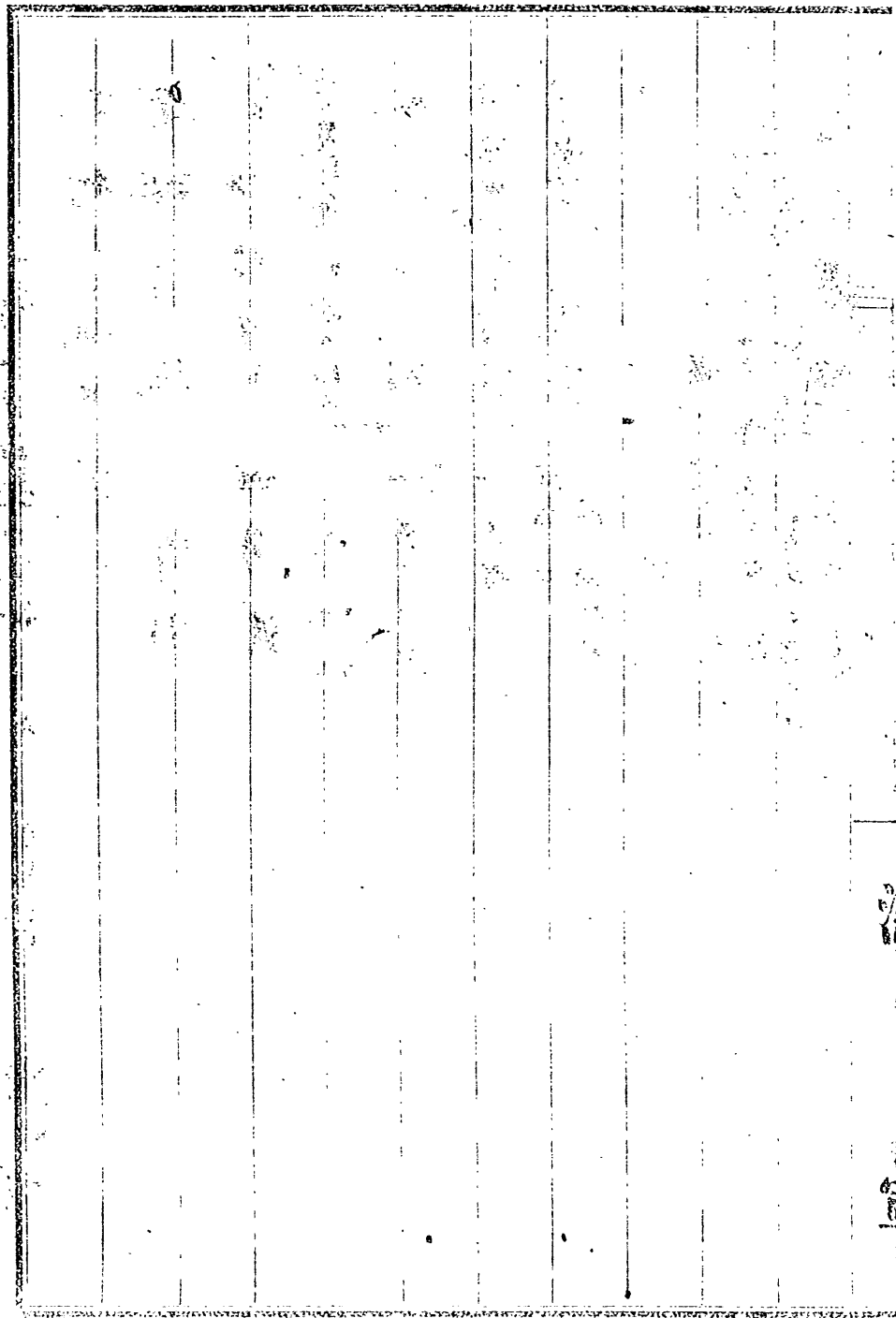
意見

今回ノ實験ハ兩艦機ヲ脱離セザリシカ故ニ之ヲ脱離セル時ニ  
 比シ結果ト於テ大ナル差異アリヤ疑ヲ容レス今本實験中  
 一時間ノ炭費アリ石炭ニ換算スル時ハ一昼夜ノ炭費ノ中  
 五六噸(重油一ヲ石炭ニ三ニ換算)トナリ三機使用全速力  
 ノ炭費(一昼夜半噸)ニ對シ大差ナリ(短時間ノ實験ニ其確  
 ハ保シ難キモ)若シ兩艦機ヲ脱離セル時ハ抵抗ヲ減少シ從  
 テ炭費ヲ節スルヲ得ル事疑ヲ容レザルニモナラズ當面兵  
 員ノ數ヲ減スルノ益アリテ急遽高尾力ヲ要セザル處距

ノ航海ニ適用シテ是ノ利アリト信ス仍ホ今後兩機  
脱離中央機械運轉實驗ノ機會多ク與ヘラレシム事  
ヲ望ム

第十七駆逐隊機関長代理佐藤 恕意見

實驗成績ニヨリ中央機械一台使用ハ先ヅ低速力八哩以下ノ程度  
トシ其他ニ於テハ發生實馬力ノ増加(今速力三機使用時實馬力ニ比シ)  
機関運轉ノ状況、船体振動増加ニヨリ不利ナリト思考ス  
橋三機ニ機比較運轉成績ニ徴シ中央機械使用ハ常々船体振動ノ  
原因トナリ寧ロニ機使用スルヲ得策トスルモ中央機械一台使用ハ船  
体振動増加ノ真ニ於テ殊々不利ナリト認ム



1226

別紙

一 罐全力中央主機一坐航行試驗報告 驅逐艦櫻

施行年月日	元、八、三一
運轉時數	一時間
使用罐番号	四号罐
高压滑弁平均蒸気圧力	一七一听
航平均速度力程	一五九哩
中央機軸平均每分钟数	二六三・六
両舷機軸平均每分钟数	右舷一四三・〇 左舷一四〇・〇
馬力	二、二六九 (備考三機使用十汽浚馬力一三八〇)
燃石消費額	一、三八〇 磅
燃煤消費額	二〇・〇 磅
重油消費額	四〇・〇 磅 四〇・〇 磅 六・六一 磅

料油

毎時馬力

五九  
〇〇六

備考

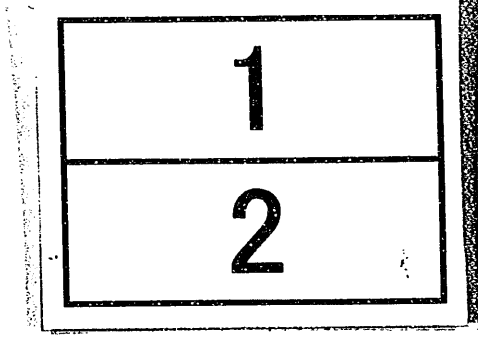
命ニ依リ兩船機械ノ推進軸ハ脫離セズ

兩船機械ノリリク装置ハ中央ニ置ク

中央機械一堅ニテ最微速力ノ毎分回転數ハ二一・五ナリ

(終)

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1230 1228

艦隊運動要表報告用紙

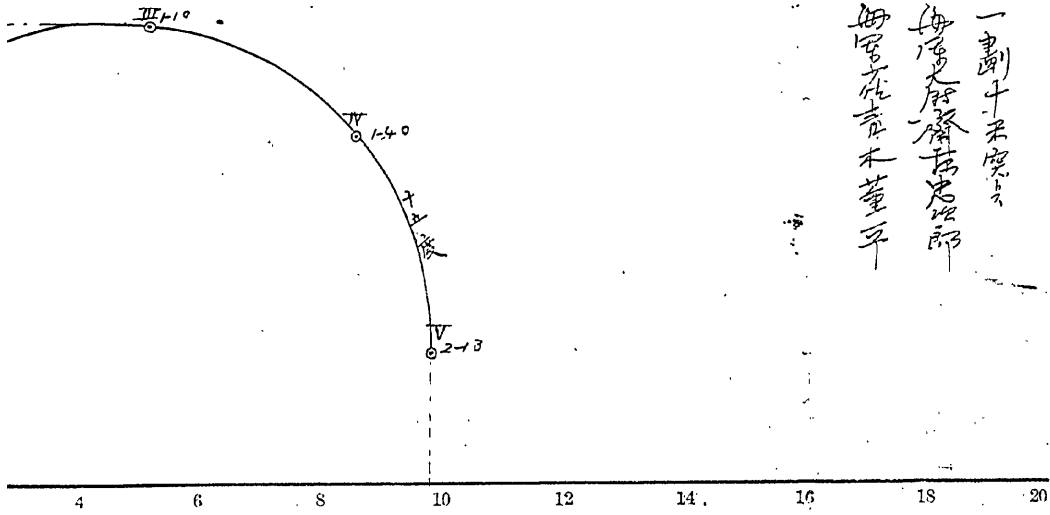
艦名	高サ 距離 (米)	高橋頂至水線 米	斜桁頂至水線 米	無線電信機	汽燈至舷燈 米	至艦尾燈 米	速力信號燈 米	惰力	
								前進時 停止距離 米	及 後進時 停止距離 米
	100								
	150								
	200								
	250								
	300								
	350								
	400								
	450								
	500								
	550								
	600								
	650								
	700								
	750								
	800								
	900								
	1000								
	1200								
	1400								
	1600								
	1800								
	2000								
	2500								
	3000								
	3500								
	4000								
	4500								
	5000								
	6000								
速力	回轉數	使用汽機 最小數	炭消費高 一晝夜石 (噸)	惰力		航續距離			
				前進時 停止距離 米	及 後進時 停止距離 米	十五節	八節		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間	出港時 汽機 停止 時間		
大至急	至急	通常	至急	通常	至急	通常	至急		

艦隊運動要表報告用紙

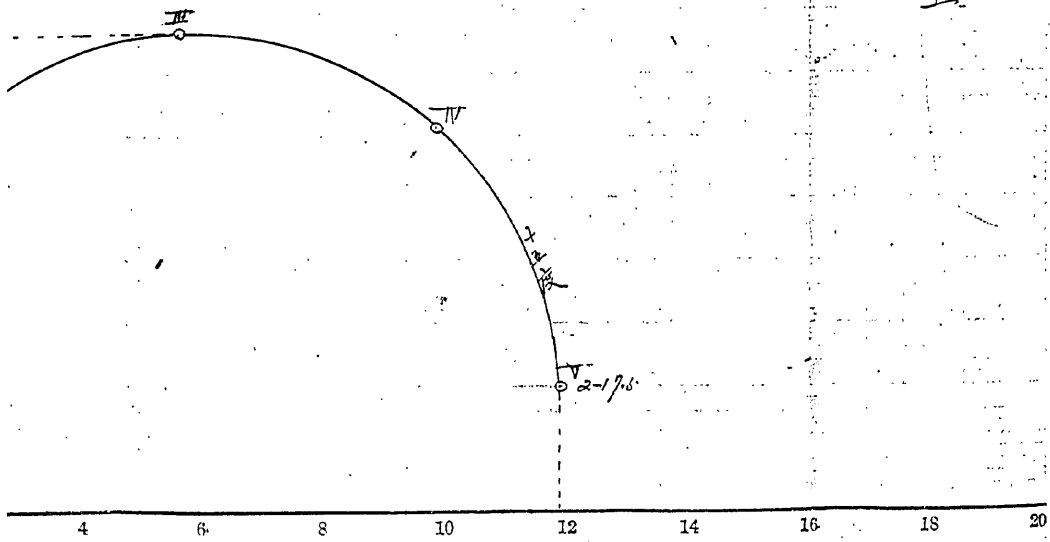
備考  
一、測子未定  
航海長 (艦長) 海軍少佐 藤田忠雄  
艦長 (艦長) 海軍少佐 木下平

備考  
航海長  
艦長  
今上

回轉  
回轉



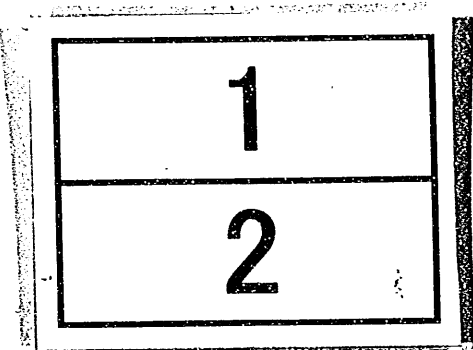
回轉  
回轉







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

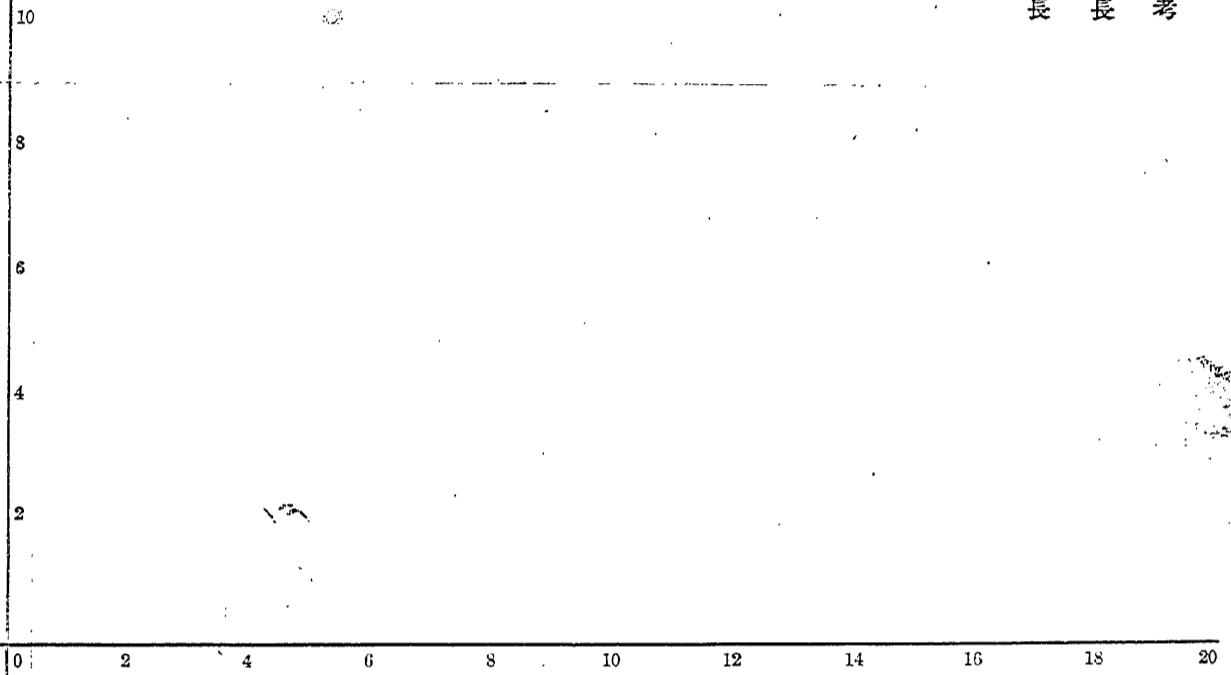
軍艦

1231  
1232

艦隊運動要表報告用紙

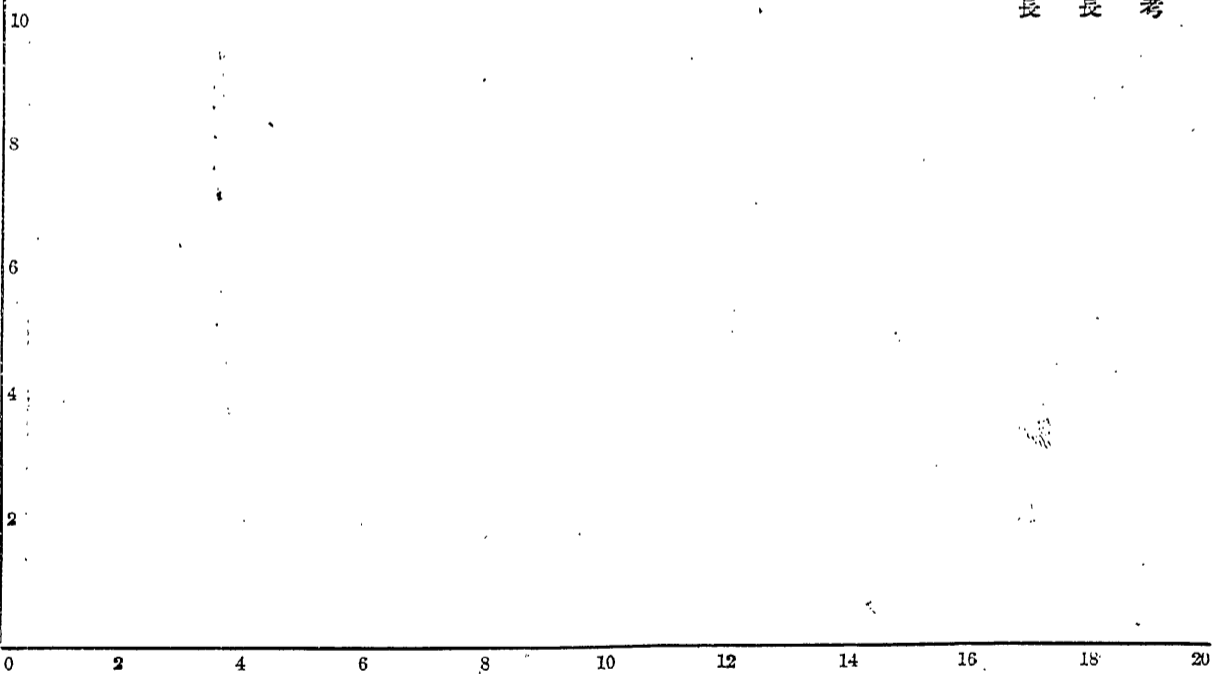
艦長  
航海長  
備考

節 右舷 左舷 回轉 回轉



節 右舷 左舷 回轉 回轉

艦長  
航海長  
備考



軍艦

明治 年 月 日 測定  
 場所  
 吹水  
 最近出葉  
 船底ノ現狀  
 船體最大傾斜  
 天候  
 海上ノ模様  
 風向風力  
 流潮  
 取付 度ノ時 度  
 前後部 年 月 日  
 前後部

20 18 16 14 12 10 8 6 4 2

明治 年 月 日 測定  
 場所  
 吹水  
 最近出葉  
 船底ノ現狀  
 船體最大傾斜  
 天候  
 海上ノ模様  
 風向風力  
 流潮  
 取付 度ノ時 度  
 前後部 年 月 日  
 前後部

20 18 16 14 12 10 8 6 4 2

伊覽

九月十

艦政本部

軍務局

教育本部

軍令部

供賞

二驅艇第一〇號

大正元年九月三日

九月三日進

隊司令渡邊仁太郎

横濱鎮守衛司令官宮野武榮

第四部 部員

一、艦艇修繕月修理改善成績表

右提小計課

(終)

四部

工廠長

機関長

參事長

副官

副官

參事

雷

雷

雷

雷	雷	雷
雷	雷	雷
雷	雷	雷

1233

電

信覽

横須賀鎮守府第一二八號ノ二

大正元年九月九日

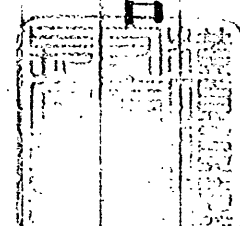
横須賀鎮守府司令長官 男爵 瓜生 外吉

海軍大臣 男爵 齋藤 實毅

第四部 部員

果急二前霧駢  
 金修百禮務逐  
 第第リテ約左艦  
 三第リテ約左艦  
 班理ヲ一決ハ推進  
 ノヲ稍著ク附軸ハ  
 終スルニテ磨於テ  
 小認結應周美  
 一ノ神崎  
 一ノ張出東  
 一ノ全周美  
 一ノ張出東  
 一ノ全周美

軍令部  
 教育本部  
 軍務局  
 總政本部



1234

大候柔部分ノ内各其ノ衆生ニ得  
ヘキ最大力量ヲ四千三百馬カニ制  
限スヘキ旨刻々致置候  
右報告ス

(福永ハ金400石)

(迄)

船政本部  
供覧

海軍

鎮撫隊

大正元年 九月九日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 齋藤實殿

一 庫船出雲修理 公試 運轉成績表

右 達 呈 下

第四部 船政本部

第三部

保安船政四部

高島

第一班

第三班

軍務局

軍務局

軍務局

船政本部

1236

九月九日

十月九日



號一第紙單案起

大正元年九月十七日起案

提察 艦政本部

大臣

次官

參事官

副官

第四部

第三部

會計課

軍令部長

次長

經理局長

主務局員

第一班

電報指令案

大正元年九月十九日

大臣

舞鎮第一九号三周防阿蘇機關試運轉施

發送  
番號

每頁

九月十九日  
梅房接

1237

元九月十九日  
軍令部接受

四

9-17

9/1/01

行件認許ス

(終)

目録

重光



一九一三年九月十二日

舞鶴鎮守府司令長官男爵三須宗太郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

第四部

第周防阿蘇機蘭試運轉ノ為ノ出動ノ件

周防及阿蘇ノ西艦ハ復舊修理中ノ處大演習

ニ參加前一時同工事ヲ中止シ機蘭試運轉ノ必要

有之矣ト付艦船造修試験検査規則第六十六條

隊行運轉ノ準シ汽走施行ノ義御認許相成度

右上申ス

(終)

五十四

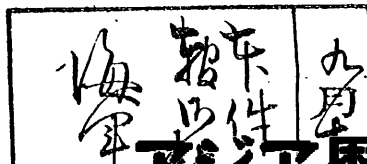
海

續四

電務局接受  
元九



1239



終

演習  
必要  
六條  
成度

陸軍省  
陸軍部  
陸軍省

軍務局 接收  
元九 十月 廿

1239



九月十一日	鎮守府	申取
事件を以て要之を申取 報に指合し之を計す 海軍省に申取		

1240

於海軍

佐鎮

佐鎮第一二號之四

大正三年十月七日

佐保鎮守府司令長官島村速雄

海軍大臣勇爵齋藤實殿

十月廿日  
海軍省接收

山梨

山梨

軍務局接收  
元十月廿日

陸四  
10-21  
十月廿日

24

艦政本部

第四部

第三部

軍務局

軍令部

軍艦嶮峨以試運轉件

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍大臣勇爵齋藤實殿

海軍

1241



○標柱ハ瓦テ國崎、牛ヶ首間ノモノヲ使用スルヲ定  
○工事又ハ天候ノ都合ニヨリ予定時日ニ多少ノ変更アルモノトス

手紙  
借見

一三九之

大正元年十月十一日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 加藤友三郎

驅逐艦若葉修理公試運轉成績 貳通

第四部  
第三部  
會計課

軍務局

局員

右進 別紙二通 海軍省 艦政四部

第二班

第一班

海軍

十月十日  
海軍省 陸軍省

元十ノ一  
海軍省 陸軍省

1244



手  
子

供  
送

電  
報

電  
報

軍務局

艦政  
部

軍  
部

大正元年 十月 十日 日午後六時三十分 局發  
大正元年 十月 十日 日午後六時三十分 局着

受信者大臣

發信者

佐鎮長友

電報譯

本日嶮嶮第一回公試運轉施行ス  
全力平均回轉數二八一馬力一八九一  
結果良好

第四部

第三部

會計課

各班

海軍

1245

附  
11-18

# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午後	第	局	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">友 報</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">カ イ シ シ</p>
		前	前	一	報	
		時	時	三	日	
		分	分	號	報	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="font-size: 2em;">コ シ カ リ ヨ シ</p> <p style="font-size: 2em;">ハ マ カ マ マ イ</p> <p style="font-size: 2em;">ス マ カ マ マ エ</p> <p style="font-size: 2em;">ハ マ カ マ マ コ</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p style="font-size: 2em;">ホ カ シ テ シ イ</p> </div> </div>						定 指
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="font-size: 2em;">三 三</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p style="font-size: 2em;">第 四 十 七 號</p> </div> </div>						番 記
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="font-size: 2em;">三 三</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p style="font-size: 2em;">第 四 十 七 號</p> </div> </div>						印 附 日 信 着

1246

電 報 着 信 紙

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取投者	受信	付午後	付午後	第 二	廿七	カ
	後	後	後	號	局	↑
	時	時	日		報	レ
	分	分				レ
		字				レ
				定指	辛	
				事記	一、当球内返信。	
					一七	
番着信		紙數		名氏所居人信發		
		第 六				
		號				
印附日信着						

1247

供官  
長官

龍關

參謀

參謀

元十一月十二日  
軍令官印受

軍務局接受

四  
10-30

十月廿六日進達

大正九年十一月廿四日

軍艦環山出陣

長官印

佐世浦鎮守府司令官為村建雄殿

監政本部

第四部

第三部

會計部

軍務部

軍令部

第一班

艦隊司令部

第三部

台

了

海軍

NO. 1248

1248



覽

借覽

大正八年十月廿八日

軍艦隊司令官長官代理

海軍少將加藤定吉殿

軍艦隊司令官長官代理

海軍少將加藤定吉殿

海軍少將加藤定吉殿

海軍少將加藤定吉殿

海軍少將加藤定吉殿

海軍少將加藤定吉殿

海軍少將加藤定吉殿

機關長

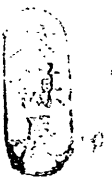
軍令部

軍令部

艦四製圖場



佐鎮副官



26

元十月 宣

軍令部 受

1250

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

電

供覽  
長藤友三郎

吳鎮機密第一二三號ノ七

大正元年十二月六日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 齋藤實

海軍艦務津新造試運轉成績表一通

右佳奉不別冊抄送  
別冊「艦本四部」保管ニシテ

局員

第三室

丁

軍務局

艦政本部

軍令部

艦務課

告四

第一班

第三班

海

軍

十二月九日

12-10

1251

NAVAL FIRE

SIR PERCY

A further report of the result of the firing over that of Sir Percy. For four years the new method it was to settle the Admiralty place between the new and the old was not. The at the same time targets, and to possible it was in rough weather but with the shell each way. Un Thunderer made the Orion, and records of firing fine weather. In the Thunderer, times from 10 target. The new system fitted to all possible delay left for Portland.

Weekly Times  
22/11

AUSTRO-HUNGARIAN IMPERIAL FAMILY.

THE ORDER OF SUCCESSION.

(FROM OUR OWN CORRESPONDENT.)

VIENNA, Nov. 20.  
The Archduchess Zita, wife of the Archduke Charles Francis Joseph, great-nephew of the Emperor Francis Joseph and next after the Archduke Francis Ferdinand in the order of succession to the Hapsburg Throne, gave birth to a male child this morning in the castle of Wartholz, near Reichenau. Mother and child are doing well.  
The birth of this Archduke may prove to be of high importance for the Hapsburg dynasty. In virtue of the declaration solemnly made by the Archduke Francis Ferdinand on the occasion of hismorganatic marriage with the Countess Chotek, now Duchess of Hohenberg—a declaration enacted as a statute of the Hungarian realm—that neither his wife nor their issue should ever be entitled to claim succession to the Throne, the heirship presumptive passed to his brother, the Archduke Otto. Upon the latter's death it passed to the Archduke Otto's eldest son, the Archduke Charles Francis Joseph, whose marriage with Princess Zita of Parma in October, 1911, was consequently welcomed throughout the Monarchy as likely to restore a regular order of succession. This hope has to-day been fulfilled.

Weekly Times  
22/Nov/12  
1252

六  
覽

Handwritten notes and signatures in the top right corner, including a large signature and some illegible text.







A further report from Berchaven states that the result of the comparative tests which have been held between the battleships Thunder and Orion is to establish definitely the superiority of Sir Percy Scott's system of director firing over that hitherto in use. For four years it has been questioned whether the new method was superior to the old, and it was to settle the matter conclusively that the Admiralty ordered the experiments to take place between the Thunder, which was fitted

SIR PERCY SCOTT'S INVENTION.

NAVAL FIRE

caused the egregious blunder to be rectified. The Bureau busied themselves enormously preparing passes, securing photographs of correspondents, issuing armlets that were supposed to pass, protect, and assist the wearers on the field of operations, and in organizing most elaborate machinery for dealing with the despatches of the hundreds of correspondents to whom passes had been given. The indiscriminate issuing of these sheaves of passes was the initial blunder. Every person armed with a note from a newspaper, a photograph of himself, and a letter from his resident Minister, certifying that his passport was all right and that evidently he was respectable, the letter a formal document, that no Minister could well refuse to any countryman, and which most Legations eventually prepared in typewritten form, so great was the rush for them, received a pass and an armlet, and was duly commissioned a war correspondent. In the words of the official regulations, "Upon presentation of the above credentials the applicant shall become a recognized war correspondent." And as the stream of permits was passed out to the motley multitude the thoughtful officer in charge of the Bureau sighed and said, "Whatever shall we do with them all?" It was an afterthought that should have been the very first forethought. The Balkans are within a very reasonable *hundred* fare of all the countries of Europe, and papers and publications of every sort and kind felt that the war was worth risking the price of a railway ticket on; and the return

1254

1521



oau  
The  
pro  
cor  
sup  
on  
me  
de  
to  
of  
pe  
a  
re  
w  
a  
N  
a  
t  
u  
c

...right wing was repulsed  
and was compelled to withdraw, sustaining  
heavy losses. This morning, again, the enemy's  
infantry, advancing on our left wing, suffered  
heavily and was driven back. The artillery  
duel continued to-day along the whole line.

In a telegram timed 8.30 this evening Nazim  
Pasha says:—

The battle which has been raging for three  
days throughout the whole extent of the  
Tchataldja lines ended to-day also in our favour.  
We repulsed the enemy's infantry, which  
attempted to advance in the centre, and  
annihilated several of their batteries. On the  
right wing we captured two machine-guns  
and a quantity of ammunition. From one of  
the forts in the centre we made a sortie at  
sunset and dispersed the enemy who had  
occupied a position in face of the fort. The  
greater part of them were killed. We captured  
200 rifles and a large quantity of ammunition.

**TURKISH GENERAL WOUNDED.**

(FROM OUR OWN CORRESPONDENT.)

CONSTANTINOPLE, Nov. 18, 1915

Mahmud Mukhtar Pasha, who displayed great  
personal courage both at Viss and in yesterday's  
action, was brought in by motor-car wounded  
in the leg and taken to the German hospital this  
evening. According to the latest information  
the general is doing as well as can be expected.

1255

1523

caused the egregious blunder... The Bureau busted the infantry losses. This morning again, the enemy's preparing passes, issuing correspondents, supposed to pass, protect, on the field of operation most elaborate machinery. Pasha says: "The indiscriminate issue of passes had been days throughout the whole extent of the person armed with a no. We refused to advance in the infantry, which was all right and that of right wing we captured two machine-guns and which most legitimate assault and dispersed the enemy, who had in typewritten form, so occupied a position in face of the fort. The only commissariat a 200 rifles and a large number were killed. In the words of the off

Handwritten notes and signatures in the top right corner.

六  
部  
見

艦政本部長

教本部長

第一部長

第二部長

副官  
部員

第三課  
計課

可  
見

軍務局

中  
國

平  
山

赤  
松

丸  
山

大  
石

東  
島

松  
坂

飯  
田

嘉  
明

軍務局長  
九月十日

1256

1257





下  
供覽

軍令部

艦政本部

軍務部

計二三四

第一班

海軍

大正元年 五月廿二日 午後八時五十分 付立原  
大正元年 五月廿五日 午後六時十分 丸内  
局發 局著

受信者 大匠

發信者 平戸港長

局員 報譯

主標及鏡、主蒸系鏡接手人毎、漏洩並、  
主復水器、漏洩修理ヲ要ス二十三、若手  
上、日數三十六、豫定廿、尙待勤ニ差

大

了

花時納

1258

12-28

# 電 送 達 紙



●注意

受付月日の記入を省略したるものは受付の當日著局に於て受信したるものとす

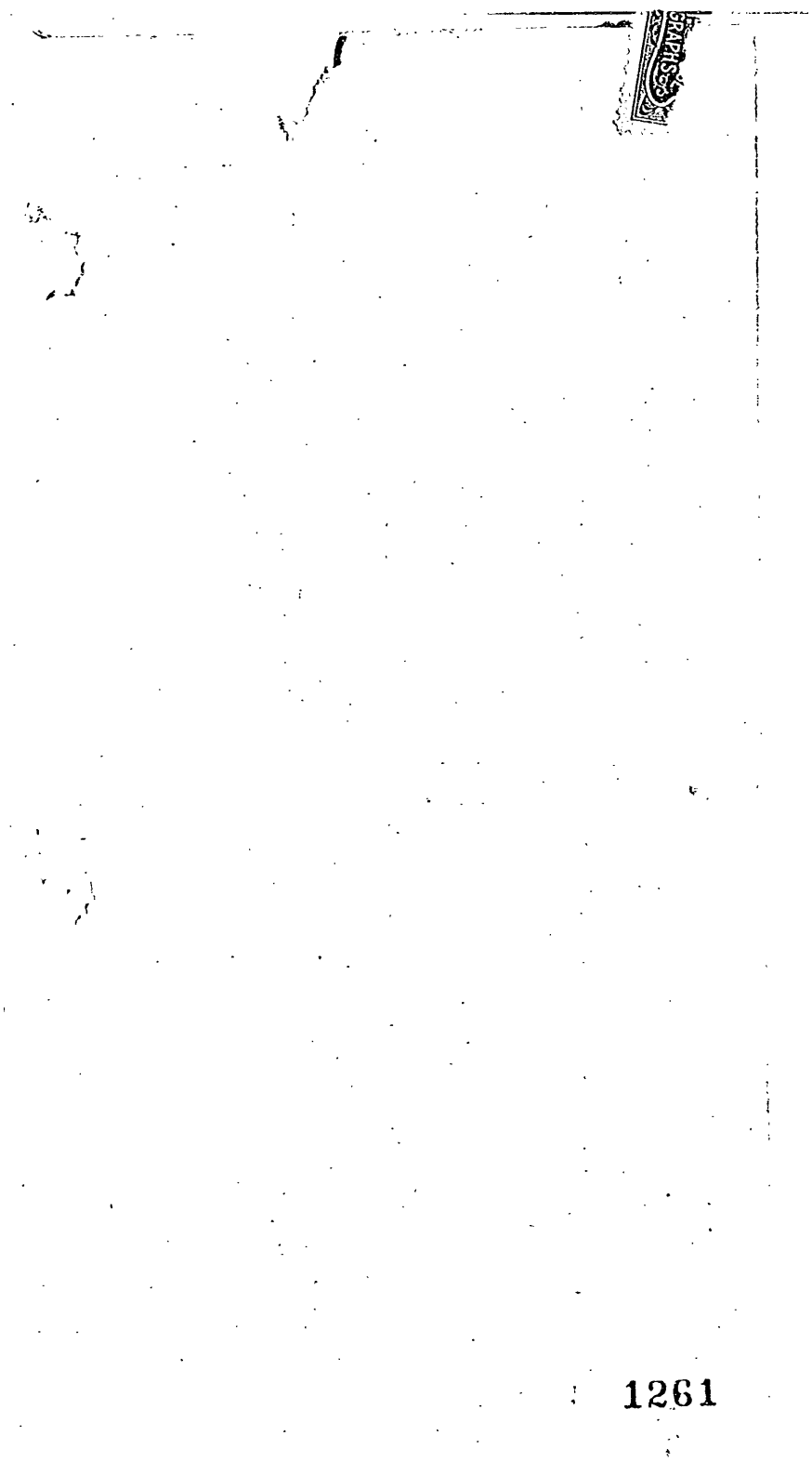
●注意

報の配達を受けたるときは其山を付箋し直に之を配達したる電信局所に返展せらるへ決して其受取本人へ直送し又は手渡しせらるるべし

局著	局 發				名氏所居人信受
受務者	第一	第	日	報	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
分	分	分	分	分	
3	2	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
2	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">カ</div>
1	1				







1261

電

供覽

大正元年 三月 十七日 午後 四時二十五分

本省 局 著

受信者 海軍大臣 大要司令官

雷公試運轉本日午後零時五分

用後午後二時五十分終了結果良好

馬力約五五〇、速力二七・九四

艦政本部

軍務局

軍令部

第四部 第三部 會計課

第三班

海軍

12-20

12-19

1262

# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發				受 信 人 居 所 名
取 扱 者	受 信	付 午 後	付 午 前	第	報 局	
取扱者	受 信	付 午 後	付 午 前	第	報 局	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">多</div>
分	分	分	分	日	號	
k	o	7	5	27	37	指 定
7	7	5	5	カ	37	事 記
セ	マ	4	5	カ	37	番 着 信 號
十	イ	4	0	1	9	數 紙
2	カ	7	0	3	0	名 氏 所 居 人 信 發
)	カ	リ	3	3	3	第 十 二 號
二	カ	リ	2	)	)	7
七	五	カ	4	カ	五	ハ
、	五	カ	4	カ	五	)
九	0	カ	リ	2	7	)
						印 附 日 信 着

1263